

2025 年 5 月 27 日

株式会社 A C S L

A C S L、米国子会社の ACSL, Inc.がテキサス州ヒューストンで開催の展示会「XPONENTIAL 2025」に出展

- ACSL, Inc.は、2025 年 5 月 20～22 日に米国で開催された「XPONENTIAL 2025」に SOTEN や TENSO を出展。特に新製品の NDAA 準拠の高画素赤外線カメラが注目を集めた
- 経済安全保障及び脱中国製品の明確な流れを受けて、セキュアなドローンへのニーズが高まっており、ACSL, Inc.は米国市場での販売及び市場開拓をさらに加速

株式会社 A C S L（本社：東京都江戸川区、代表取締役 Co-CEO：早川研介・代表取締役 Co-CEO：寺山昇志、以下、A C S L）の米国子会社である ACSL, Inc.は、2025 年 5 月にテキサス州ヒューストンで開催された展示会「XPONENTIAL 2025」に出展しましたので、お知らせいたします。

■展示会の様子

ACSL, Inc.ブースでは、小型空撮機体「SOTEN（蒼天）」とそのオプションカメラ、スマートコントローラー「TENSO」などを展示し、モニターを使って飛行プランの作成プロセスを紹介するなど、実演を交えて製品の紹介を行いました。オプションカメラの豊富さや価格競争力、National Defense Authorization Act（NDAA）への準拠といった当社製品の強みが、エネルギー設備点検企業や公共安全機関のユーザー等から高く評価されていました。

来場者から特に注目を集めたのは、米国市場向けに開発された NDAA 準拠の高画素赤外線カメラ※¹です。この赤外線カメラは、米国での展示会やデモといった販売活動を通じて得たユーザーのフィードバックを元に、経済安全保障及びカメラ性能に関する米国市場のニーズを満たすため開発された製品で、現在、今年夏頃の出荷を予定しています。



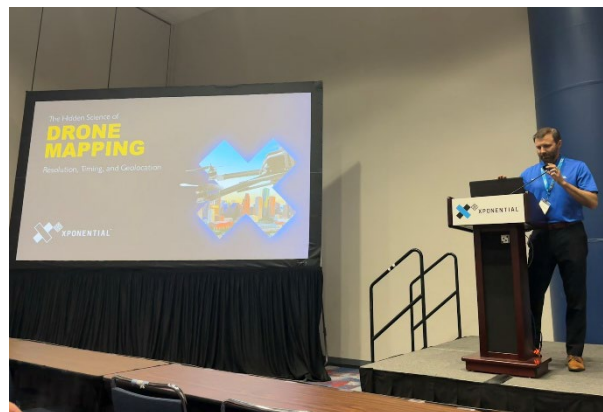
ACSL, Inc.展示ブース



SOTEN を展示

また、ACSL, Inc. 役員が展示会プログラムに登壇しました。ACSL, Inc. CEO の Cynthia Huang は、"Unique UAS Use Cases in Hazardous Environments"（危険な環境でのユニークな UAS のユースケース）というテーマで、米国のエネルギー企業各社と合同でプレゼンテーションを行いました。

当社グローバル CTO 兼 ACSL, Inc. 取締役の Chris Raabe は、"The Hidden Science of Drone Mapping: Resolution, Timing, and Geolocation"（ドローンマッピングの隠れた科学：解像度、タイミング、測位精度）というテーマで、ドローンの技術的なプレゼンテーションを行いました。



プレゼンテーションの様子

（左写真の左側：ACSL, Inc. CEO Cynthia Huang、右写真：当社グローバル CTO Chris Raabe）

ACSL グループは、今後も、米国市場での販売及び市場開拓をさらに加速してまいります。

■XPONENTIAL について※²

XPONENTIAL は、米国ワシントン D.C. 至近に拠点を置く、先進自律システム・ロボット工学分野で世界最大の団体である AUVSI（国際無人輸送システム協会）が主催する世界最大級の展示会です。陸・海・空すべての領域で、今後より求められてゆく無人・自律システム技術にフォーカスをあて、各分野でのリーダーとのネットワーキングの機会を提供しています。「XPONENTIAL 2025」の想定来場者数は 7,500 人以上、出展数は 650 社以上となっています。

■ACSL, Inc. について

- ・ 名称：ACSL, Inc.
- ・ 所在地：710 Lakeway Drive, Suite 200, Sunnyvale, CA 94085
- ・ 代表者：President Cynthia Huang
- ・ 事業内容：ACSL の産業用ドローンの米国市場での販売等
- ・ 株主：株式会社 ACSL 100%
- ・ WEB サイト：<https://acsl-usa.com/>

※1 [A C S L、米国子会社の ACSL, Inc. が NDAA 準拠の高画素赤外線カメラと アドバイザリーボードの設置を発表](#)

※2 展示会 HP：<https://xponential.org/>

【株式会社 A C S L について】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社 A C S L 広報担当 (Tel : 03-6456-0931 Email : pr@acsl.co.jp)

以 上